



着物モニターとして、小千谷の街歩きをしました。

着付けをしてもらい出発



～錦鯉の里にて～

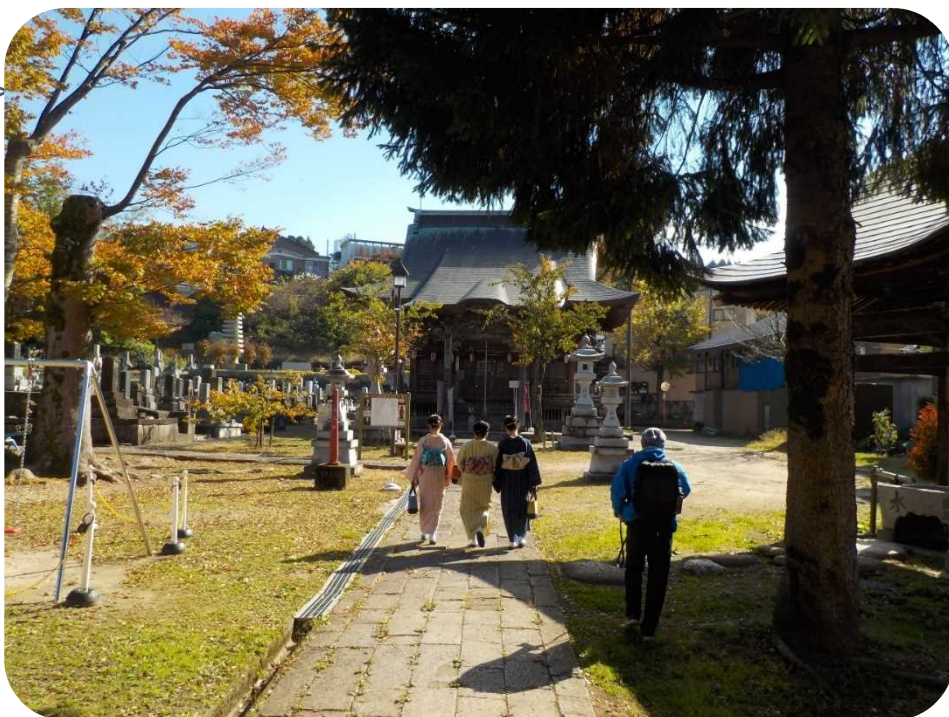
着用した片貝木綿について

小千谷市片貝町で250年以上の歴史を持ち、雪国越後の厳しい気候風土に育まれながら、伝統の技を受け継がれてきました。

片貝木綿は、3種の太さの違う糸が規則的に配置されており、太い糸の凸面だけが主に肌に触れあうのでさらりとしているのも特徴です。

色柄も数百種類あり、お気に入りの色柄に出会えるそうです。私たちも、好きな色柄を選び着付けをしてもらいました。

実施された11月4日(日)は晴天で、紅葉も美しかったです。



～平成町と本町街を歩いて仏閣めぐり～



小千谷の魅力が多くの人に
届きますように・・・。



～慈眼寺楼門をくぐり境内へ～



～東忠2階からの眺め～

